The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大英図書館蔵五代敦煌帰義軍酒破歴 ： S八四二六
Author(s)	坂尻, 彰宏
Citation	大阪大学大学院文学研究科紀要. 2010, 50, p. 29-59
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/3804
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

大英図書館蔵五代敦煌帰義軍酒破歴 ― S八四二六 ―

坂尻彰宏

まえがき

本稿が取り扱うS八四二六文書は、大英図書館（the British Library）に所蔵される敦煌文献の内で二〇世紀末に再整理された文書の一つである。本文書の内容は、すでに栄新江氏のカタログに紹介されており［栄一九九四　八三―八四頁、以下『栄目録』］、文書の写真も公刊されている［中国社会科学院歴史研究所他編一九九五　一二一―一二七頁］。

文書の内容は、毎日の酒の支出を記録した酒破歴（酒支出帳簿）である。(1)『栄目録』は、これを九世紀半ばから一一世紀にかけて敦煌を支配した帰義軍節度使政権の公的な記録とみなして「帰義軍酒破暦」と名付け、作成年代を一〇世紀にあてている。文書中の日々の酒の支出項目は三〇〇件におよび、他の文書に見られない情報も少なくない。『栄目録』は既に簡潔な内容整理を行い、文書に現れる固有名詞の一部をあげているが、その後本格的な研究は現れていない。そこで、本文書の現状や形態について説明し、全文を移録して内容を一覧表の形で提示する。また、書式や作成年代など二三の問題について私見を述べて、今後の研究の基礎としたい。

一　文書の現状と形態

S八四二六は現在八つのテキストと断片から成っている。これらは元々 ch. 00103の番号を持っていたと思われ、それぞれのテキストにはこの番号が記入されている。テキストにはそれぞれ S. 8426 A1, A2, B1, B2, C, D, E, F の番号が付されて整理されている。なお、現在の番号は『栄目録』の記述と若干異なるので次に両者の対応を示す［表1参照］。

表1

現状	『栄目録』	日付
A1	A1	8月5日以前～9月23日
A2	A2	4月14日～5月17日
B1	B1	某月20日以前～某月末日
	B2	9月24日～11月14日
B2	C	11月19日以前～1月9日
C	D	5月19日～7月5日
D	H	某月3日以前～某月12日
	E	某月16日以前～某月20日以後
E	F	9月29日～10月18日以後
F	G	9月9日以前～10月某日

現状と『栄目録』との大きな相違は次の二点である。『栄目録』がB1とB2とに分けていたテキストは、現状ではB1にまとめられており、同じく『栄目録』のHとEとは、あわせてDになっている。このためB2以降の番号は『栄目録』と現状との間にずれが生じている。(2)

本文書を構成する紙片は、大英図書館において保存のため全て一巻に軸装されており、付随する断片も一緒に貼り込まれている。装丁に付された注意書きによれば、これらの断片は、軸装される以前は本文書の背面に貼付けられていたようである。(3) 紙片はいずれもやや薄い中質の紙である。Dは上端と下端が、Fは下端が大きく欠けており、A1、A2、Cの下端は一～二字分欠落している。一方、B1、B2、Eの上下の端はほぼ完存している。

文書の筆跡には複数のタイプが混在しており、墨の濃淡にも差が大きい。このことは、本文書が一度に一人の書き手によって作成されたのではなく、何人かの書き手が順次作成に携わっていたことを示している。また、文書を点検したときに付けられたと思われる花押や朱勾を確認できるが、朱印は押されていない。全ての紙片の水平方向中央付近に薄い墨による抹消線が引かれており、これらが使用後に廃棄されたものであることがわかる。

ただし、背面に別の内容が書き込まれている訳ではないので、料紙としては再利用されていない。

二　原文移録

次にA～Fの順にテキストの録文を提示する。現在A1とA2とは連接されて保存されているが、テキストの内容は連続しないので録文も分けて作成した。また、B1は二紙からなるが、第一紙のテキストと第二紙のテキストとが連続しない。そこで、テキストをB1-1（第一紙）とB1-2（第二紙）とに分けた。これらは、それぞれ『栄目録』のB1とB2にあたる［表1参照］。断片のテキストはA～Fの録文の下に示した。固有名詞には傍線を付し、書き手の誤記の修正や推定して判読した箇所は（　）で補った。なお、テキスト中の花押は「花押」と表記し、朱勾は『朱勾』、墨勾は「墨勾」で表した。

A1

〈前欠〉

1　匠酒壹斗付富千。「花押」五日酒七斗付虫児城□［

2　□用。又同日酒壹斗付願冨看南山用。七日酒［

3　□□□匠契付与願冨。又同日酒五斗押衙［

4　□□□僧用。八日酒壹斗城北画匠契用。［

5　山多。九日画匠酒壹角付山多。十日酒画匠酒［

6　角付山多。同日送路赤書宰相等酒貳斗伍［

7　押衙就店酒伍升。「花押」十一日酒壹瓮城北看［

8　用付山多。十二日酒壹角城北画匠用付山多。十三□

9　酒壹角付山多城北用。同日酒壹斗付願冨看氈匠□

10　十四日酒貳斗付山多城北用。又同日酒壹斗看□

11 十五日酒壹角城北看画匠用付山多。「花押」十六□(日)
12 酒壹斗看氈匠用付虫児。又同日夜間酒伍升付願冨
13 達怛□磨夜間就店看画匠酒貳斗。十七□□(日)
14 匠酒壹斗付虫児。十八日氈匠酒壹斗付虫児。十九□(日)
15 対画匠酒半瓮。又同日張家□頭頓酒半瓮。□(又)
16 同日氈匠酒壹斗。「花押」廿日画師支酒壹瓮。同日酒
17 壹角付願冨看博士用。廿一日酒壹斗付願冨看
18 博士用。廿二日午料酒伍升自送。廿三日校棟就店喫酒壹斗。□□
19 日午料酒伍升付虫児。又同日夜看女夫酒伍升付押牙。
20 廿五日押牙就店喫酒伍升。廿六日屈似官酒半瓮 [
21 廿七日北府刈粟酒壹瓮付山多。「花押」廿十八日看博士□(酒)
22 壹斗付与石判官。九月一日酒五升見刀用付与願冨。
23 又同日酒壹斗付願冨看博士用。又同日付虫児酒□
24 升小押牙看丈母用。二日酒貳斗城北刈粟用。四日酒
25 壹斗付願冨南山用。六日付願冨酒伍斗看南山。七日酒
26 壹斗付□徳看親家用。八日酒壹斗付虫児看博士□(用)
27 「花押」九日酒伍升付冨連。又同日酒伍升普光寺内用。
28 又同日城北酒伍升。十一日酒壹斗付願冨城北用。十三□(日)
29 酒壹斗付山多。十四日早上煎薬酒伍升付押牙。又同□(日)
30 酒五升付虫児、午時酒五升付山多。又同日夜間□(酒)

31 貳斗賽神用。「花押」十五日開光明酒壹瓮付押衙。十□(六)
32 日酒壹角付虫児。十七日酒壹角付押衙(釀)讓皮用。
33 同日夜了(料)酒壹角付山多。十八日酒半瓮付石□(兵)
34 馬使看親家用。十九日願冨酒壹斗看博仕(士)
35 用。廿日酒伍升自送。同日酒壹角付山多看
36 博仕(士)用。又同日夜了(料)酒伍升付山多看張□
37 指用。廿一日酒貳斗付虫児。同日酒一角付虫□(児)
38 賽神用。『朱勾』廿日山多手上全得酒本粟四石。
39 「花押」廿三日付山多酒壹角博士用。

〈後欠〉

A2

〈前欠〉

1 十四日付焼醜子酒伍升。又同日酒壹斗祭拝用付幸□(德)
2 又同日酒壹斗付願德看連延大小娘子用。又同日□(酒)
3 伍升付万全牧馬人用。十五日酒壹斗付虫児看画□(匠)
4 用。十六日支柔皮匠焼醜子酒伍升。十七日張郎去
5 用酒壹瓮。十八日磑頭酒壹瓮付押衙。十九日酒壹□
6 磑頭用付押衙。同日酒壹角皮釀付焼醜□(子)
7 廿日酒伍升付呉愨子押牙托樹子喫用。「花押」廿二日酒壹
8 角付火安信就宅看牧馬人用。又酒伍升付安信、
9 亦看牧馬人用。同日夜料酒伍升付願冨

10 看卜師用。廿三日酒伍升付山多夜料看女夫用。
11 廿四日酒壹斗付虫児看朝定用。廿五日酒壹斗押牙
12 就店用、夜料酒壹斗付奴子女夫用。廿六日
13 酒一角付山多屈客用。「花押」廿九日酒壹斗□(看)
14 南山宰相用付願冨。五月二日酒伍昇(升)家内看南山用。□(酒)
15 壹斗押衙共張郎就點(店)喫用。又同日酒伍升付定娘□
16 娘子喫用。四日酒半瓮看南山宰相用付押衙。五日就□
17 祭拝酒壹斗付山多。同日酒壹角付山多□□
18 出城用。「花押」六日押牙用酒伍升。八日対程押牙
19 伍升。十一日支斫掾人酒壹斗、又酒伍升斫木神酒伍升。
20 同日酒伍升付山多 六娘子喫用。『朱勾』五月十二日於押□(牙/衙)
21 手上領得酒本粟参碩。十三日夜料酒□ [
22 六娘子喫付願徳。十四日校棟来酒壹斗。又同日
23 酒伍升付虫児。十七日□□□裴是奴。「花押」

〈後欠〉

B1-1　〈前欠〉

1 伍升□ [
2 共漢児喫酒伍升進□□衣酒伍升 [
3 万事盈□達子又酒伍升氾家□□ [
4 瓮。廿日酒伍升付再昌□□。廿一日付押衙酒壹斗。廿二日

《断片1》B1の上部に上下逆に貼付け

1] 疋
2] 就
3] □四
4] 群

5 酒壹角付張兵馬使賽神用。「花押」廿五日酒一斗
6 絳衣博士舍仏人付宋老。同日看　阿郎南山朝
7 定酒伍升付押牙。廿六日南山朝定酒伍升付宋老。
8 又同日酒伍升夜料看朝定用付押牙。廿七日酒
9 壹斗付与童員信看博士用。又同日夜酒伍升付員
10 信看朝定用。廿八日酒一斗付石兵馬使永慶兵馬使用。
11 同日酒一角付趙冨子看博士用。月尽日壹斗付□
12 達看博士用。

〈後空〉

B1-2　〈前欠〉

1 廿四日酒壹斗付願冨看博士。廿五日酒壹斗付山多。廿
2 六日付山多酒伍升。同日就店看博士酒壹瓮。又同（日）
3 酒壹斗付幸徳栓葱用。月尽日酒伍升付山多看木
4 匠用。十月三日酒壹斗看旋匠用。四日酒半瓮釀皮用付
5 願冨。五日酒壹斗主人自送。「花押」八日酒壹角付虫
6 児看博士用。同日夜料酒五升付虫児。九日酒貳
7 斗付兵馬使。又同日酒五升付山多看博士用。十日
8 酒壹斗看閻都知用付幸徳。十一日酒伍升付願
9 冨。同日支□匠酒伍升。十二日酒七杓灌牛付押衙。
10 「花押」十三日酒伍升付押衙看瓜州家用。十四日酒

---

5 ］□
6 ］付
7 ］一日
8 ］酒半
9 ］同
10 ］壹斗
11 ］慇
12 ］酒貳
13 ］壹斗
14 ］同
15 ］又
16 ］用
17 ］押牙
18 ］瓮付
19 ］付
20 ］日酒
21 ］朝定
22 ］朝定
23 ］伍
24 ］瓮
25 ］日

11 壹斗付虫児看朝定用。又同日酒一角付願冨看
12 朝定用。十五日酒五升付押衙看南山用。十七日
13 木博仕(士)酒壹瓮。「花押」十九日校棟出酒壹角付李
14 衍鶏。又同日酒半瓮送路南山用。又同日南山朝
15 『朱勾』定喫酒伍升。「花押」『朱勾』廿日領得酒本粟伍
16 碩。廿一日対王留住酒壹斗。「花押」廿二日城東園祭拝
17 酒肆斗伍升。廿四日送路南山差懐酒壹斗。廿七
18 日城北算羊酒壹瓮。廿八日算羊酒貳斗。廿九
19 日酒半瓮蔵鉤用。十一月乙生四日酒壹斗付与従児
20 也了(夜料)看画師用。五日酒五斗付侯豊潤。「花押」七日
21 酒壹角付押衙灌牛用。十四日灌牛酒壹角付

〈後欠〉

B2　〈前欠〉

1 「　　」□
2 曹家阿舅。十九日対皮匠酒壹角。廿日酒壹斗下
3 鷹用。同日酒伍升付山多看南山用。廿一日酒貳斗
4 什子看客用。又同日酒伍升付達子。「花押」
5 『朱勾』十一月廿一日請酒本粟柒碩。「花押」廿五日冬至
6 酒壹瓮。廿七日看校棟酒半瓮付石定子。又同日
7 酒伍升付願冨。廿八日酒貳斗付虫児屈女夫

《断片2》 B1の上部に上下逆に貼付け

1 」角
2 」□
3 」付
4 」政
5 」諾

《断片3》 B1の上部に貼付け

1 」□
2 」石

《断片4》 B2の上に上下逆に貼付け

1 」伍
2 」酒
3 」□

《断片5》 B2の上に上下逆に貼付け

1 」分
2 」多

8　用。「花押」十二月一日酒壹斗付虫児看鞍匠用。二日
9　酒壹斗付虫児看鞍匠用。又同日夜酒伍升付意郎。
10　三日酒半瓮支取柴人。又同日酒伍升付山多看胡
11　朝定用。四日酒壹斗付虫児看鞍匠用。五日酒
12　壹角付豊閏（潤）迎柴車用。七日□駄迎校棟酒貳
13　斗。又同日就宅酒貳斗伍升。「花押」九日酒伍升
14　付意郎看駄轡匠用。十一日六娘子去病酒壹
15　瓮。十四日看小娘子酒壹瓮付豊閏（潤）。十六日酒貳
16　斗付押衙看小娘子用。「花押」廿日夜料酒一斗
17　看安上（鞍匠？）用。廿一日酒伍升付張定奴看
18　安上（鞍匠？）用。廿二日酒壹斗付什子就宅用。廿四日
19　小押牙界火酒伍升。廿五日酒壹斗付曹家阿
20　舊（舅）灌牛用。「花押」廿七日酒壹斗付張定奴看客用。
21　正月二日酒伍升付義成馬群頭用。三日酒貳斗付押
……
22　衙看石匠用。又同日酒壹斗付押衙。六日酒壹瓮付押
23　衙石匠行官合火用。七日酒壹瓮付侯豊潤磑
24　場頭用。九日酒貳斗付押衙看名像用。
25　［　『朱勾』□□□□□　］
〈後欠〉

3　］山多
4　］日
5　］子

《断片6》B2の上に貼付け
1　］□
2　］酒
3　］□
4　］日
5　］子

《断片7》B2の上に上下逆に貼付け
1　］□
2　］富
3　］瓮
4　］一日

C

〈前欠〉

1 十九日酒伍升付願徳押牙北用。廿日酒壹斗看僧
2 用。廿二日斫掾人酒壹角。又同日酒伍升看瓜州□
3 阿娘。廿五日押牙隊家酒伍升。廿六日酒伍升付七□
4 又同日夜酒伍升付万全看女夫及六娘子喫用。又同日夜大□
5 小押衙二人就點(店)喫用酒伍升。廿八日酒壹角付押衙□
6 駅看南山朝定用。又同日酒伍升付山多就□
7 看南山朝定用。「花押」廿九日莊上鎮壓酒□
8 斗付押牙。又同日酒伍升付山多看朝定用。又同□□(日)
9 宅夜料酒伍升。又同日酒伍升看南山付願冨。□□(六)(月)
10 二日酒伍升付氾安信看朝定、小押牙就店喫□□(用)
11 伍升。三日酒伍升看都知、又酒伍升鉄博士午□□(時)(用)
12 又同日酒壹斗博士共押牙就店喫用。四日酒伍升□□
13 南山用付押牙。同日夜料酒壹斗六娘子喫□付山多。「花押」
14 『朱勾』六月七日押衙手上領得酒本粟両石。十一日賽□(神)
15 発願酒七杓付押衙。十二日賽神酒壹瓮付馬憨子。十三日酒□□
16 付奴子。十四日酒伍升看博士付奴子。十五日看瓜州張都衙酒伍升。□(又)
17 同日看放車博士酒伍升付奴子。「花押」十七日北府刈麦□(酒)
18 両瓮付押衙。廿一日北城刈麦酒壹瓮付押衙。廿二日酒伍升□
19 十(廿)子寮利乞丹。廿四日小押衙共梁厩喫酒□□□(廿)
20 七日北府賽神酒半瓮付石冨晟。廿九日酒壹斗□

21　小押衙磑頭六娘子用。七月三日酒壹瓮九娘子七日用付押衙。四□(日)
22　壹角付什子看客用。五日酒壹斗自送看客用。「花押」
〈後欠〉

D
〈前欠〉
1　］同日酒壹斗付冨郎。三日［
2　］付勝子酒壹斗亦看博士［
3　］衙石匠及木匠喫用。「花押」［
4　］付達子。又同日看博士酒［
5　］車家酒肆斗。同日賽神［
6　］伍升看博士。同日李慈児去絳［
7　］十二日酒□□付願冨看博□(士)［
8　］彭神奴。十六日押衙［
9　］十八日付曹家阿舅［
10　］『朱勾』衙手上領得酒本粟肆□(碩)［
11　］渠賽神酒半瓮。廿日酒［
12　］磑酒伍升付割［
13　］半瓮。同日看博士［
14　］陰家人助酒壹瓮。廿［
15　］酒五□(十)［
〈後欠〉

《断片8》Dと一緒に貼付け
1　］□［
2　］寺内修［
3　］壹瓮［
4　］□［

E

〈前欠〉

1 廿九日酒伍升付再昌看朝定用。十月一日酒伍升
2 付義成。二日付再昌酒壹斗看鞍博士。「墨勾」
3 『朱勾』三日於押衙手上領得酒本粟陸拾参石。「花押」
4 四日酒伍升付再昌。五日酒伍升付押衙。「花押」七日遞
5 車牛人酒壹斗付押衙。同日酒壹斗絳衣人用付与
6 永慶。又同日人助酒半瓮付永慶。九日接車酒壹斗付什子。
7 十一日酒伍升付喝慌着罰用。十二日酒伍升付再昌看
8 南山用。「花押」十四日付義成酒伍升看博士。同日酒
9 □□押牙喫。十七日酒伍升看箭博士用。同日押衙
10 ］□十八［（日）
11 ］□□□［

〈後欠〉

E背面（表面に対して上下逆）

1 已前領得本粟四十石九斗。

F

〈前欠〉

1 碩□酒壹斗。九日□［
2 □児。十一日酒肆斗看南［（山）
3 押衙、同日買白刺用。又同日［

《断片9》Fの上に上下逆に貼付け

1 ］徳
2 ］酒
3 ］匠

4　壹瓮付□児磑頭用。又同日酒［
5　用。十四日酒壹瓮自送磑頭［
6　用付山多。十五日酒壹瓮自［
7　升。十七日磑頭神酒壹［
……
8　十八日酒貳斗送路南山［
9　十九日酒半瓮付押衙磑頭［
10　『朱勾』十九日請酒本粟拾碩。廿［日
11　「花押」廿一日対木匠酒半［
12　洗頭用。廿二日磑頭酒［貳
13　酒壹斗付石定子□［
14　押牙共賈僧政就［（店喫用）
15　孔子用。同日酒伍升□［
16　伍升木□（匠）梁門用。［（廿？）
17　郎君用。十月［
〈後欠〉

4　］病
5　］角
6　］□
7　］□
8　］児
9　］石

《断片10》Fの上に上下逆に貼付け
1　］官一
2　］□
3　］□

三　内容一覧表

次に文書の内容を表示する。表はテキストごとに作成し、通し番号、日付、記事、酒量、(4)備考の項目に分かれている。備考欄には、各記事に花押付されていれば『押』、朱勾がある場合は『朱』と記入した。

表２　【A1】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1		――	］匠酒壹斗付富千	壹斗	『押』
2		五　日	酒七斗付虫児城□［　］用	七斗	
3		同　日	酒壹斗付願冨看南山用	壹斗	
4		七　日	酒［　］匠契（喫）付与願冨	――	
5		同　日	酒五斗押衙［　］僧用	五斗	
6		八　日	酒壹斗城北画匠契（喫）用［　］山多	壹斗	
7		九　日	画匠酒壹角付山多	壹角	
8		十　日	酒画匠酒［　］角付山多	□角	
9		同　日	送路赤書宰相等酒貳斗伍［	貳斗伍□	
10		（同　日）	］押衙就店酒伍升	伍升	『押』
11		十一日	酒壹瓮城北看［　］用付山多	壹瓮	
12		十二日	酒一角城北画匠用付山多	一角	
13		十三日	酒壹角付山多城北用	壹角	
14		同　日	酒壹斗付願冨看氈匠□（用）	壹斗	
15		十四日	酒貳斗付山多城北用	貳斗	
16		同　日	酒壹斗看□	壹斗	
17	八　月	十五日	酒壹角城北看画匠用付山多	壹角	『押』
18		十六日	酒壹斗看氈匠用付虫児	壹斗	
19		同　日	夜間酒伍升付願冨	伍升	
20		（同　日）	達怛□磨夜間就店看画匠酒貳斗	貳斗	
21		十七日	□匠酒壹斗付虫児	壹斗	
22		十八日	氈匠酒壹斗付虫児	壹斗	
23		十九日	対画匠酒半瓮	半瓮	
24		同　日	張家□頭頓酒半瓮	半瓮	
25		同　日	氈匠酒壹斗	壹斗	『押』
26		廿　日	画師支酒壹瓮	壹瓮	
27		同　日	酒壹角付願冨看博士用	壹角	
28		廿一日	酒壹斗付願冨看博士用	壹斗	
29		廿二日	午料酒伍升自送	伍升	
30		廿三日	校棟就店喫酒壹斗	壹斗	
31		同日／廿四日	午料酒伍升付虫児	伍升	
32		同　日	夜看女夫酒伍升付押牙	伍升	
33		廿五日	押牙就店喫酒伍升	伍升	

No.	月	日	事項	酒量	備考
34	八　月	廿六日	屈似官酒半□［	半□	
35		廿七日	北府刈粟酒壹瓮付山多	壹瓮	『押』
36		廿八日	看博士□壹斗付与石判官	壹斗	
37	九　月	一　日	酒五升見刀用付与願冨	五升	
38		同　日	酒壹斗付願冨看博士用	壹斗	
39		同　日	付虫児酒□升小押牙看丈母用	□升	
40		二　日	酒貳斗城北刈粟用	貳斗	
41		四　日	酒壹斗付願冨南山用	壹斗	
42		六　日	付願冨酒伍斗看南山	伍斗	
43		七　日	酒壹斗付□徳看親家用	壹斗	
44		八　日	酒壹斗付虫児看博士□（用）	壹斗	『押』
45		九　日	酒伍升付冨連	伍升	
46		同　日	酒伍升普光寺内用	伍升	
47		同　日	城北酒伍升	伍升	
48		十一日	酒壹斗付願冨城北用	壹斗	
49		十三日	酒壹斗付山多	壹斗	
50		十四日	早上煎薬酒伍升付押牙	伍升	
51		同　日	酒五升付虫児	五升	
52		（同　日）	午時酒五升付山多	五升	
53		同　日	夜間酒貳斗賽神用	貳斗	『押』
54		十五日	開光明酒壹瓮付押衙	壹瓮	
55		十六日	酒壹角付虫児	壹角	
56		十七日	酒壹角付押衙讓（釀）皮用	壹角	
57		同　日	夜了（料）酒壹角付山多	壹角	
58		十八日	酒半瓮付石□（兵）馬使看親家用	半瓮	
59		十九日	願冨酒壹斗看博仕（士）用	壹斗	
60		廿　日	酒伍升自送	伍升	
61		同　日	酒壹角付山多看博仕用	壹角	
62		同　日	夜了（料）酒伍升付山多看張□指用	伍升	
63		廿一日	酒貳斗付虫児	貳斗	
64		同　日	酒一角付虫□（児）賽神用	一角	
65		廿　日	山多手上全得酒本粟四石		『朱』『押』
66		廿三日	付山多酒壹角博士用	壹角	

表３　【A2】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	四　月	十四日	付焼醜子酒伍升	伍升	
2		同　日	酒壹斗祭拝用付幸□（徳）	壹斗	
3		同　日	酒壹斗付願徳看連延大小娘子用	壹斗	
4		同　日	酒伍升付万全牧馬人用	伍升	
5		十五日	酒壹斗付虫児看画□（匠）用	壹斗	
6		十六日	支柔皮匠焼醜子酒伍升	伍升	
7		十七日	張郎去用酒壹瓮	壹瓮	
8		十八日	磑頭酒壹瓮付押衙	壹瓮	
9		十九日	酒壹□磑頭用付押衙	壹□	
10		同　日	酒壹角皮釀付焼醜□（子）	壹角	
11		廿　日	酒伍升付呉憨子押牙托樹子喫用	伍升	『押』
12		廿二日	酒壹角付火安信就宅看牧馬人用	壹角	
13		廿二日	又酒伍升付安信亦看牧馬人用	伍升	
14		同　日	夜料酒伍升付願冨看卜師用	伍升	『押』
15		廿三日	酒伍升付山多夜料看女夫用	伍升	
16		廿四日	酒壹斗付虫児看朝定用	壹斗	
17		廿五日	酒壹斗押牙就店用	壹斗	
18		廿五日	夜料酒壹斗付奴子女夫用	壹斗	
19		廿六日	酒一角付山多屈客用	一角	『押』
20		廿九日	酒壹斗□（看）南山宰相用付願冨	壹斗	
21	五　月	二　日	酒伍昇（升）家内看南山用	伍升	
22		二　日	□（酒）壹斗押衙共張郎就點（店）喫用	壹斗	
23		同　日	酒伍升付定□娘子喫用	伍升	
24		四　日	酒半瓮看南山宰相用付押衙	半瓮	
25		五　日	就□祭拝酒壹斗付山多	壹斗	
26		同　日	酒壹角付山多□□出城用	壹角	『押』
27		六　日	押牙用酒伍升	伍升	
28		八　日	対程押牙伍升	伍升	
29		十一日	支斫掾人酒壹斗	壹斗	
30		十一日	又酒伍升斫木神酒伍升	伍升	
31		同　日	酒伍升付山多六娘子喫用	伍升	
32		十二日	於押□（牙／衙）手上領得酒本粟参碩		『朱』
33		十三日	夜料酒□［　］六娘子喫付願徳	——	

No.	月	日	事項	酒量	備考
34	五　月	十四日	校棟来酒壹斗	壹斗	
35		同　日	酒伍升付虫児	伍升	
36		十七日	□□□裴是奴	——	『押』

表４　【B1-1】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	某　月	——	]伍升□［	伍升	
2		——	]共漢児喫酒伍升進□□衣酒伍升［	伍升	
3		——	万事盈□達子	——	
4		——	又酒伍升氾家□□［	伍升	
5		——	]瓮	□瓮	
6		廿　日	酒伍升付再昌□□	伍升	
7		廿一日	付押衙酒壹斗	壹斗	
8		廿二日	酒壹角付張兵馬使賽神用	壹角	『押』
9		廿五日	酒一斗絳衣博士舎仏人付宋老	一斗	
10		同　日	看阿郎南山朝定酒伍升付押牙	伍升	
11		廿六日	南山朝定酒伍升付宋老	伍升	
12		同　日	酒伍升夜料看朝定用付押牙	伍升	
13		廿七日	酒壹斗付与童員信看博士用	壹斗	
14		同　日	夜酒伍升付員信看朝定用	伍升	
15		廿八日	酒一斗付石兵馬使永慶兵馬使用	一斗	
16		同　日	酒一角付趙冨子看博士用	一角	
17		月尽日	壹斗付□達看博士用	壹斗	

表５　【B1-2】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	九　月	廿四日	酒壹斗付願冨看博士	壹斗	
2		廿五日	酒壹斗付山多	壹斗	
3		廿六日	付山多酒伍升	伍升	
4		同　日	就店看博士酒壹瓮	壹瓮	
5		同　日	酒壹斗付幸徳栓葱用	壹斗	
6		月尽日	酒伍升付山多看木匠用	伍升	
7	十　月	三　日	酒壹斗看旋匠用	壹斗	
8		四　日	酒半瓮醸皮用付願冨	半瓮	
9		五　日	酒壹斗主人自送	壹斗	『押』
10		八　日	酒壹角付虫児看博士用	壹角	
11		同　日	夜料酒五升付虫児	五升	
12		九　日	酒貳斗付兵馬使	貳斗	
13		同　日	酒五升付山多看博士用	伍升	
14		十　日	酒壹斗看閻都知用付幸徳	壹斗	
15		十一日	酒伍升付願冨	伍升	
16		同　日	支□匠酒伍升	伍升	
17		十二日	酒七杓灌牛付押衙	七杓	『押』
18		十三日	酒伍升付押衙看瓜州家用	五升	
19		十四日	酒壹斗付虫児看朝定用	壹斗	
20		同　日	酒一角付願冨看朝定用	一角	
21		十五日	酒五升付押衙看南山用	伍升	
22		十七日	木博仕（士）酒壹瓮	壹瓮	『押』
23		十九日	校棟出酒壹角付李衍鶏	壹角	
24		同　日	酒半瓮送路南山用	半瓮	
25		同　日	南山朝定喫酒伍升	伍升	『朱』『押』
26		廿　日	領得酒本粟伍碩		『朱』
27		廿一日	対王留住酒壹斗	壹斗	『押』
28		廿二日	城東園祭拝酒肆斗伍升	伍升	
29		廿四日	送路南山差懐酒壹斗	壹斗	
30		廿七日	城北算羊酒壹瓮	壹瓮	
31		廿八日	算羊酒貳斗	貳斗	
32		廿九日	酒半瓮蔵鉤用	半瓮	
33	十一月	四　日	酒壹斗付与従児也了（夜料）看画師用	壹斗	
34		五　日	酒五斗付侯豊潤	五斗	『押』
35		七　日	酒壹角付押衙灌牛用	壹角	
36		十四日	灌牛酒壹角付［	壹角	

表６　【B2】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	十一月	——	[　　]	——	
2		——	］曹家阿舅	——	
3		十九日	対皮匠酒壹角	壹角	
4		廿　日	酒壹斗下鷹用	壹斗	
5		同　日	酒伍升付山多看南山用	伍升	
6		廿一日	酒貳斗什子看客用	貳斗	
7		同　日	酒伍升付達子	伍升	『押』
8		廿一日	請酒本粟柒碩		『朱』『押』
9		廿五日	冬至酒壹瓮	壹瓮	
10		廿七日	看校棟酒半瓮付石定子	半瓮	
11		同　日	酒伍升付願冨	伍升	
12		廿八日	酒貳斗付虫児屈女夫用	貳斗	『押』
13	十二月	一　日	酒壹斗付虫児看鞍匠用	壹斗	
14		二　日	酒壹斗付虫児看鞍匠用	壹斗	
15		同　日	夜酒伍升付意郎	伍升	
16		三　日	酒半瓮支取柴人	半瓮	
17		同　日	酒伍升付山多看胡朝定用	伍升	
18		四　日	酒壹斗付虫児看鞍匠用	壹斗	
19		五　日	酒壹角付豊閏（潤）迎柴車用	壹角	
20		七　日	□駄迎校棟酒貳斗	貳斗	
21		同　日	就宅酒貳斗伍升	伍升	『押』
22		九　日	酒伍升付意郎看駄轡匠用	伍升	
23		十一日	六娘子去病酒壹瓮	壹瓮	
24		十四日	看小娘子酒壹瓮付豊閏（潤）	壹瓮	
25		十六日	酒貳斗付押衙看小娘子用	貳斗	『押』
26		廿　日	夜料酒一斗看安上（鞍匠？）用	一斗	
27		廿一日	酒伍升付張定奴看安上（鞍匠？）用	伍升	
28		廿二日	酒壹斗付什子就宅用	壹斗	
29		廿四日	小押牙界火酒伍升	伍升	
30		廿五日	酒壹斗付曹家阿舊（舅）灌牛用	壹斗	『押』
31		廿七日	酒壹斗付張定奴看客用	壹斗	
32	正　月	二　日	酒伍升付義成馬群頭用	伍升	
33		三　日	酒貳斗付押衙看石匠用	貳斗	
34		同　日	酒壹斗付押衙	壹斗	
35		六　日	酒壹瓮付押衙石匠行官合火用	壹瓮	
36		七　日	酒壹瓮付侯豊潤磑場頭用	壹瓮	
37		九　日	酒貳斗付押衙看名像用	貳斗	
38		——	[　　]	——	『朱』

表７　【C】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	五　月	十九日	酒伍升付願徳押牙北用	伍升	
2		廿　日	酒壹斗看僧用	壹斗	
3		廿二日	斫掾人酒壹角	壹角	
4		同　日	酒伍升看瓜州□阿娘	伍升	
5		廿五日	押牙隊家酒伍升	伍升	
6		廿六日	酒伍升付七□	伍升	
7		同　日	夜酒伍升付万全看女夫及六娘子喫用	伍升	
8		同　日	夜大□小押衙二人就點(店)喫用酒伍升	伍升	
9		廿八日	酒壹角付押衙□駅看南山朝定用	壹角	
10		同　日	酒伍升付山多就□看南山朝定用	伍升	『押』
11		廿九日	荘上鎮壓酒□斗付押牙	□斗	
12		同　日	酒伍升付山多看朝定用	伍升	
13		同　日	宅夜料酒伍升	伍升	
14		同　日	酒伍升看南山付願冨	伍升	
15	六　月	二　日	酒伍升付氾安信看朝定	伍升	
16		二　日	小押牙就店喫□（用）□伍升	伍升	
17		三　日	酒伍升看都知	伍升	
18		三　日	又酒伍升鉄博士午□（時）□（用）	伍升	
19		同　日	酒壹斗博士共押牙就店喫用	壹斗	
20		四　日	酒伍升□□南山用付押牙	伍升	
21		同　日	夜料酒壹斗六娘子喫□付山多	壹斗	『押』
22		七　日	押衙手上領得酒本粟両石		『朱』
23		十一日	賽□（神）発願酒七杓付押衙	七杓	
24		十二日	賽神酒壹瓮付馬憨子	壹瓮	
25		十三日	酒□□何奴子	□□	
26		十四日	酒伍升看博士何奴子	伍升	
27		十五日	看瓜州張都衙酒伍升□	伍升	
28		同　日	看放車博士酒伍升付奴子	伍升	
29		十七日	北府刈麦□（酒）両瓮付押衙	両瓮	『押』
30		廿一日	北城刈麦酒壹瓮付押衙	壹瓮	
31		廿二日	酒伍升□十（什）子寮利乞丹	伍升	
32		廿四日	小押衙共梁厩喫酒□□	□□	
33		（廿七日）	北府賽神酒半瓮付石冨晟	半瓮	

No.	月	日	事項	酒量	備考
34	六　月	廿九日	酒壹斗□小押衙磑頭六娘子用	壹斗	
35	七　月	三　日	酒壹瓮九娘子七日用付押衙	壹瓮	
36		四　日	壹角付什子看客用	壹角	
37		五　日	酒壹斗自送看客用	壹斗	『押』

表８　【D】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	某　月	同　日	酒壹斗付冨郎	壹斗	
2		三　日	[　　]	——	
3		——	］付勝子酒壹斗亦看博士	壹斗	
4		——	］衙石匠及木匠喫用	——	『押』
5		——	］付達子	——	
6		同　日	看博士酒［	——	
7		——	］車家酒肆斗	肆斗	
8		同　日	賽神［	——	
9		——	］伍升看博士	伍升	
10		同　日	李慈児去絳［	——	
11		十二日	酒□□付願冨看博□（士）［	□□	
12		——	］彭神奴	——	
13		十六日	押衙［	——	
14		十八日	付曹家阿舅［	——	
15		——	］衙手上領得酒本粟肆□（碩）［		『朱』
16		——	］渠賽神酒半瓮［	半瓮	
17		廿　日	酒［	——	
18		——	］磑酒伍升付割［	伍升	
19		——	］半瓮	半瓮	
20		同　日	看博士［	——	
21		——	］陰家人助酒壹瓮	壹瓮	
22		廿□日	[　　]	——	
23		——	酒五□(十)	——	

表９　【E】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1	九　月	廿九日	酒伍升付再昌看朝定用	伍升	
2	十　月	一　日	酒伍升付義成	伍升	
3		二　日	付再昌酒壹斗看鞍博士	壹斗	墨勾有り
4		三　日	於押衙手上領得酒本粟陸拾参石		『朱』『押』
5		四　日	酒伍升付再昌	伍升	
6		五　日	酒伍升付押衙	伍升	『押』
7		七　日	逓車牛人酒壹斗付押衙	壹斗	
8		同　日	酒壹斗絳衣人用付与永慶	壹斗	
9		同　日	人助酒半瓮付永慶	半瓮	
10		九　日	接車酒壹斗付什子	壹斗	
11		十一日	酒伍升付喝慌着罰用	伍升	
12		十二日	酒伍升付再昌看南山用	伍升	『押』
13		十四日	付義成酒伍升看博士	伍升	
14		同　日	酒□□押牙喫	□□	
15		十七日	酒伍升看箭博士用	伍升	
16		同　日	押衙［　　］	——	
17		十八日	［　　］	——	

表 10 【F】

No.	月	日	事項	酒量	備考
1		——	碩□酒壹斗	壹斗	
2		九　日	□［	——	
3		——	］□児	——	
4		十一日	酒肆斗看南［（山）	肆斗	
5		同　日	］押衙買白刺用	——	
6		同　日	［　　］	——	
7		同　日	］壹瓮付□児磑頭用	壹瓮	
8		同　日	酒［	——	
9		——	］用	——	
10		十四日	酒壹瓮自送磑頭［	壹瓮	
11		——	］用付山多	——	
12		十五日	酒壹瓮自［	壹瓮	
13		——	］升	——	
14		十七日	磑頭神酒壹［	壹□	
15	九　月	十八日	酒貳斗送路南山［	貳斗	
16		十九日	酒半瓮付押衙磑頭［	半瓮	
17		十九日	請酒本粟拾碩	——	『朱』
18		廿　日	［　　］	——	
19		——	［　　］	——	『押』
20		廿一日	対木匠酒半［	半□	
21		——	］洗頭用	——	
22		廿二日	磑頭酒［貳	貳□	
23		——	酒壹斗付石定子□［	壹斗	
24		——	押牙共賈僧政就［（店喫用）	——	
25		——	］孔子用	——	
26		同　日	酒伍升□［	伍升	
27		——	］伍升木□（匠）梁門用	伍升	
28		廿□日	［　　］	——	
29		——	］郎君用	——	
30	十　月	——	［　　］	——	

四　内容・書式からみた文書の性質

S八四二六は、その内容から帰義軍政権の酒司で使用された帳簿であると思われる。文書中の日々の酒支出には、役人、職人、宗教行事、農作業などに対する供給や南山に対する供応などに用いられた酒が記録されており、支出内容の傾向は他の帰義軍の酒破歴と同様である。[6] 帰義軍政権には、管理する物品ごとに専門の行政機関が存在し、酒司はそのうちの公的な酒を管理する機関である。当時の敦煌では官衙が使用する酒類は、公の穀物倉庫である官倉から酒本（醸造用穀物）を官酒戸（公用酒醸造業者）に供給し、材料に応じた量の酒を彼らに納入させることでまかなわれており、酒司は酒本を官倉から受領して官酒戸へ引き渡し、出来上がった酒を管理していたと考えられている。[8] 本文書を見ると、日々の酒の支出が書き連ねられる一方で、酒本の受領や請求に関する次のような記録も残されている。

A1-38～39行目　『朱勾』廿日山多手上全得酒本粟四石。「花押」
A2-20～21行目　『朱勾』五月十二日於押□（牙／衙）手上領得酒本粟参碩。
B1-2-15～16行目　『朱勾』廿日領得酒本粟伍碩。
B2-5行目　『朱勾』十一月廿一日請酒本粟柒碩。「花押」
C-14行目　『朱勾』六月七日押衙手上領得酒本粟両石。
D-10行目　『朱勾』」衙手上領得酒本粟肆□（碩）「
E-3行目　『朱勾』三日於押衙手上領得酒本粟陸拾参石。「花押」
F-10行目　『朱勾』十九日請酒本粟拾碩。

全ての記録には朱勾が付されており、[9] 酒の納入量の基準となる酒本が厳重に点検されていることが伺える。このように、醸造材料の受領と酒支出との両方の記録を有する本文書が酒司の帳簿であることは疑いない。

また、この文書が帰義軍政権内で使用された帳簿であることは、文書の書式から見ても明らかである。本文書は、毎日の記録と花押と

を書き連ねる書式を持っている。日々の記録は、概ね「日付、酒量、受取人、用途」からなる酒の支出記事であり、花押は数日から一〇日ほどの間隔で付されている。ただ、こうした花押を伴う書式は現在知られている帰義軍の酒破歴の書式とは異なっている。たとえば、帰義軍の酒破歴（敦煌研究院〇〇一＋同三六九＋P二六二九）には花押は無く、月名が朱字で書かれ、朱印が紙縫の表に押されており、筆跡もほぼ一定である。(10) しかし、本文書と同様に花押を伴う帰義軍政権の酒破歴も存在する。次のP三八九七断片一である。(11)

1　］酒壹［
2　］□莊壹瓮。九月□日千渠莊壹瓮。「鳥形花押」四日［
3　］□酒壹斗、北宅酒壹角、太子酒壹斗、夫人早料酒［
4　］酒壹斗、城東楼午料酒壹斗、支留件漢児酒壹［
5　］壹斗。「鳥形花押」十日城南園早料酒壹角、北宅酒壹角［
6　］壹斗、午料酒壹斗、支陰都知納鴨酒壹斗、李帳設［
7　］夜料酒貳斗。十日支張□□納阿魏酒壹角、夜□［
8　］壹瓮。「鳥形花押」十三日南沙園酒壹瓮。「鳥形花押」十七日城南［
9　］酒壹斗、北宅酒壹角、太子酒壹斗、支李帳設酒［
10　］夜料酒貳斗。「鳥形花押」廿三日城東楼早料酒壹［
11　］角、太子酒壹斗、支李帳設酒壹斗［
12　］壹［

P三八九七断片一は、日々の酒支出記録と共に曹氏帰義軍節度使政権の第四代節度使である曹元忠（在位：九四四―九七四）が使用した特徴的な「鳥形花押」［図一］が用いられており、(12) 支出記録の後に帰義軍の首長が花押を付した公的な帳簿である。この花押は、節度使の曹元忠が酒支出の点検・承認のために内容を確認して付したものと思われる。ここで見られる書式とS八四二六の書式とは、日ごと

図一　P三八九七断片一

図二　S八四二六A

の支出記録と花押とからなる点で一致している。このように、書式からみてもS八四二六は帰義軍の公式な帳簿であると判断することができる。本文書がP三八九七断片一と同様に作成・処理されたとすれば、本文書の花押もいずれかの節度使によるものと考えるべきであろう。

なお、帰義軍の物資支出にともなう事務処理は、判憑文書による支出報告に節度使が花押付きの判辞を書き込んで、事後に点検・承認して処理することを基本にしている。[13] 帳簿に花押を書き込んで点検する方法と判憑文書による方法とは、花押の使用と事後処理とに共通性が見られる。本文書のような花押をともなう帳簿は、前述の朱字や朱印を用いた帳簿よりも、機能的にはむしろ判憑文書に近いと言える。[14]

本文書が帰義軍の酒司で使用され、節度使が花押を付した正式な支出帳簿であるとすれば、その作成年代を限定することが可能になる。帰義軍節度使の使用した署名や花押の形については赤木崇敏氏によってその写真がまとめて提示されており、鳥形花押については趙貞氏がその形の変遷を図解付きで整理している。[15] それらと比較すれば、本文書で使用されている花押［図二］は、曹元忠の初期の花押［図三、四、五］に合致する。曹元忠の花押は、署名に近い形から徐々に鳥形へと変化していくが、初期の花押が使われるのは、曹元忠の統治開始直後（九四五年）から数年間だけであり、少なくとも九五一年には、より鳥に近い形に変化している［図六］。[16] 従って、本文書の作成年代は九四五年から九五一年の間に限定することができる。

図三　P三二五七

図四　P二六四一

図五　P四九九二

図六　P三一六〇

以上のように、本文書は帰義軍政権の酒司で作成された帳簿であり、年代も曹元忠統治時期の初期であることが判明した。今後は、こうした本文書の基本的な情報をもとに、帳簿に含まれる豊富な内容を積極的に活用していくことが望まれる。

【文献目録】五〇音順、附欧文

赤木崇敏　二〇〇五　「河西帰義軍節度使張淮鼎 ―― 敦煌文献 P. 2555 pièce 1の検討を通じて ――」『内陸アジア言語の研究』二〇、一―二五頁。

栄新江　一九九四　『英国図書館蔵敦煌漢文非仏教文献残巻目録 S6981-S13624』台北、新文豊出版公司。

――　一九九六　『帰義軍史研究―唐宋時代敦煌歴史考索』上海、上海古籍出版社。

――　一九九八　「南山」『敦煌学大辞典』上海、上海古籍出版社、四六二頁。

坂尻彰宏　二〇〇三　「敦煌判憑文書考序論」『シルクロードと世界史』森安孝夫・坂尻彰宏編、豊中、大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文学」、一五九―一九五頁。

施安昌　二〇〇〇　「故宮蔵敦煌己巳年樊定延酒破歴初探」『故宮博物院院刊』二〇〇〇―三、七一―七四頁。

施萍亭　一九八三　「本所藏《酒帳》研究」『敦煌研究』創刊号、一四二―一五五頁。

邵文実　一九九二　「敦煌遺書中的「南山」考」『社科縦横』一九九二―六、四四―四九頁。

中国社会科学院歴史研究所他編　一九九五　『英蔵敦煌文献：漢文仏経以外部分』一二、成都、四川人民出版社。

趙貞　二〇〇八　「帰義軍曹氏時期的鳥形押研究」『敦煌学輯刊』二〇〇八―二、一〇―二八頁。

鄭炳林　二〇〇五　「唐五代敦煌釀酒業研究」『敦煌帰義軍史専題研究三編』鄭炳林編、蘭州、甘粛文化出版社、三九三―四一三頁（初出：同編『敦煌吐魯番文獻研究』蘭州、蘭州大学出版社、一九九五、五七五―五九四頁）。

唐耕耦・陸宏基　一九九〇　『敦煌社会経済文献真跡釈録』三、北京・香港、全国図書館文献縮微複製中心・古佚小説会。

馬雅倫　一九九五　「関於南山問題的討論」『敦煌学輯刊』一九九五―二、四八頁。

馮培紅　二〇〇三「唐五代敦煌地区的酒行、酒戸和酒司」『敦煌帰義軍史専題研究続編』鄭炳林編、蘭州、蘭州大学出版社、三二六―三三八頁（初出：「唐五代敦煌的酒行、酒戸和酒司」『青海社会科学』二〇〇一―三、二〇〇一、八二―八七頁）。
森安孝夫　二〇〇〇「河西帰義軍節度使の朱印とその編年」『内陸アジア言語の研究』一五、一―一二一頁、図版一五、一覧表一。
李正宇　一九九八「曹元忠鳥形押」『敦煌学大辞典』上海、上海古籍出版社、二九四頁。
陸離　二〇〇三「唐五代敦煌的司倉参軍、倉曹与倉司―兼論唐五代敦煌地区的倉廩制度」『蘭州大学学報（社会科学版）』三一―四、六四―七二頁。
――　二〇〇四「吐蕃統治時期敦煌醸酒業簡論」『青海民族学院学報』二〇〇四―一、一二―一八頁。
Eliasberg, D. 1979 “Les signatures en forme d’oiseau dans les manuscrits chinois de Touen-houang,” in Michel Soymié (ed.) *Contoribution aux études sur Touen-houang*, Genève-Paris, pp. 29-44, +8pls.

【注】

（1）九～一〇世紀の敦煌文献中では、支出帳籍の類は「破歴」ないし「破暦」と呼ばれている。本稿では「こよみ」の意味での「暦」とまぎれることを避け、「破歴」を使用する。なお、文書の名称における「歴」と「暦」との使いわけについては、池田温「敦煌の便穀歴」『論集　中国社会・制度・文化史の諸問題：日野開三郎博士頌寿記念』日野開三郎博士頌寿記念論集刊行会編、福岡、中国書店、一九八七、三七九頁参照。

（2）日付の表示にも若干の誤りがある。A1の最後の項目の日付は、『栄目録』の九月二二日ではなく、九月二三日である。同じく、E（『栄目録』F）で確認できる最後の日付も一〇月一七日ではなく、一〇月一八日である。また、F（『栄目録』G）は文書の最後に「十月」の残画が見えるので、九月九日から一〇月某日までの記録とみることができる［表1参照］。

（3）注意書きは次の通り“Small fragments along top edge were removed from the back of the manuscript in 1989.”なお、各断片には大英図書館による固有の番号は無いので、本稿では便宜的に断片一～一〇の番号を用いて整理した。

（4）原文の、杓（勺）、升、斗、石（碩）、角、瓮の単位で表示。このうち角と瓮とは酒などの液体を計る単位であり、角は一五升、瓮は六斗にあたる［施一九八三　一五〇―一五一頁］。各単位の対応関係と概量は次の通り。

一勺（約〇・〇六dℓ）
一〇勺＝一合（約〇・六dℓ）
一〇合＝一升（約〇・六ℓ）
一〇升＝一斗（約六ℓ）
一五升＝　一角（約九ℓ）
六斗＝一瓮（約三六ℓ）
一〇斗＝一石（約六〇ℓ）

（5）帰義軍時代に敦煌南方の山地を中心に活動した遊牧勢力。仲雲、羌、吐蕃、吐谷渾、回鶻、漢人などの集団が融合したものと考えられており、一〇世紀頃の帰義軍にとっては南方の脅威となった［栄一九九八　四六二頁］。南山の活動領域については邵一九九二　四四―四六頁を参照。なお、南山の起源に関する諸説については馬一九九五で簡潔にまとめられている。

（6）九六四年に作成された帰義軍の酒破歴（敦煌研究院〇〇一＋同三六九＋P二六二九）の内容を示した一覧表［施萍亭一九八三　一四三―一四五頁］を参照。

（7）帰義軍時代の官倉の機能や管理者については、陸二〇〇三　七〇頁参照。

（8）酒司の役割や担当官については、馮二〇〇三　三三一―三三四頁、陸二〇〇四　一六頁、鄭二〇〇五　三九五―三九七頁を参照。

（9）B2の25行目には朱勾と残画とが見える。おそらく、この部分にも酒本受領記事があったと思われる。なお、朱勾は付されていないが、Eの背面にも酒本受領に関する書き込みがある。ただし、表面との関係や機能は不明。

（10）施萍亭一九八三　一四二、一四六頁参照。この文書に使用されている朱印『帰義軍節度使新鋳印』については、森安二〇〇〇　三四頁参照。なお、故宮博物院所蔵の「己巳年樊定延酒破歴」も同じく、朱字による日付をもつ帰義軍の酒破歴であると思われる［施安昌二〇〇〇　七一―七二頁］。

（11）写真は黄永武編『敦煌宝蔵』一三一、台北、新文豊出版公司、一九八六、四六八頁、あるいは上海古籍出版社・法国国家図書館編『法国国家図書館蔵敦煌西域文献』二九、上海、上海古籍出版社、二〇〇三、一一六頁参照。録文は、趙二〇〇八　一五―一六頁に提示されているが、一部

に誤りが見られる。なお、趙氏は文書の内容と花押の特徴から本文書の作成年代を九五五年から九六六年の間に比定している。

(12) 曹元忠の略歴・称号については栄一九九六　一一三―一二四頁参照。曹元忠の鳥形花押の形状や使用状況については、Eliasberg 1979 pp. 30-33, 李一九九八　二九四頁、趙二〇〇八　一一―一六頁を参照。

(13) 判憑文書による事務処理の流れについては坂尻二〇〇三　一七七―一八〇頁を参照。

(14) 形態的にみても判憑文書とこの種の帳簿には共通点がある。P三八九七断片一の中央部には、S八四二六と同様に水平方向に薄い抹消線が引かれており、使用後に同様の手続きで廃棄されている。多くの判憑文書も同様に抹消線が引かれて廃棄されており［坂尻二〇〇三　一七一頁］、判憑文書とこの種の帳簿との事務処理上の共通性を伺わせる。

(15) 赤木二〇〇五　一三―一四頁の図版と趙貞二〇〇八　二六―二八頁の「敦煌文献所見鳥形押簡表」、および「附挿図」を参照。

(16) 趙貞二〇〇八　一一―一六頁参照。趙氏は、曹元忠の鳥形花押を形態的特徴で整理し、使用年代順に第一種、第二種、第三種に分類している。趙氏は、より鳥形に近い第二種が、署名に近い形の第一種［本稿図三～五］に代わって現れるのは、辛亥年（九五一）の紀年をもつP三一六〇で用いられた鳥形花押［本稿図六］が最初であるとしている。

A Chinese Register of Brewage Delivery from Dun-huang in Gui-yi-jun Period : S. 8426

Akihiro SAKAJIRI

S. 8426 is one of the Chinese documents rediscovered from the Dun-huang manuscripts in the British Library at the end of the 20th century. As for the content of the document, it has already been introduced in a catalog (英国図書館蔵敦煌非仏教文献残巻目録 (S. 6981-13624) ,新文豊出版公司, 1994; *Catalogue of the Chinese Non-Buddhist Fragments (S. 6981-13624) from Dunhuang in the British Library,* Taipei, Xinwenfeng chuban gongsi 1994) edited by Rong Xin-jiang (栄新江), and the photographs of the document have been published.

The content of the document is a register of brewage for every day delivery. Rong Xin-jiang named this document as "帰義軍酒破暦 a register of brewage delivery of Gui-yi-jun" , and considered it to be a official record of the government of Gui-yi-jun (帰義軍, the Return-to-Allegiance Army) that ruled over Dun-huang from the middle of the ninth century to the eleventh century. About three hundred items of daily brewages are found in this document. There is a lot of information that can not be not seen in other documents. In his catalog, Rong Xin-jiang has already explained the content of this document briefly, and enumerated a part of proper nouns that appears in the document. However, the full-scale studies by the researchers do not appear afterwards.

In this paper, It is intended to the present conditions and the form of this document, made the printed texts from orignal manuscripts, and showed the contents in the form of the tables. In addition, I studied about the formula and the date of the document. As a result, it turned out that the document was the register used by *jiu-si* (酒司, brewage office) of Gui-yi-jun, and the date of the document was around the beginning of the reign of Cao Yuan-zhong (曹元忠, r. 944-974 A.D.) , a military commander (*jie-du-shi* 節度使) of Gui-yi-jun.